

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和6年 第10週 (3/4~3/10) 【COVID-19 情報】

令和6(2024)年 3月14日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- ・滋賀県の定点あたりの報告数は7.12で、前週(6.13)と比べて増加しました。
- ・年代別では70歳以上で前週と比べ増加しています。その他の年代は前週と比べ、ほぼ横ばいとなっています。
- ・保健所別では大津市、甲賀、彦根、高島保健所圏域で前週と比べ増加しています。

2. COVID-19の定点当たり報告数(全国は前週)の値

定点当たりの報告数とは、定点医療機関からの1週間の報告数を定点医療機関数で割った値のことで、1医療機関当たりの報告数のことです。(COVID-19の例: 1週間の報告数200 ÷ 60 ≒ 3.33)

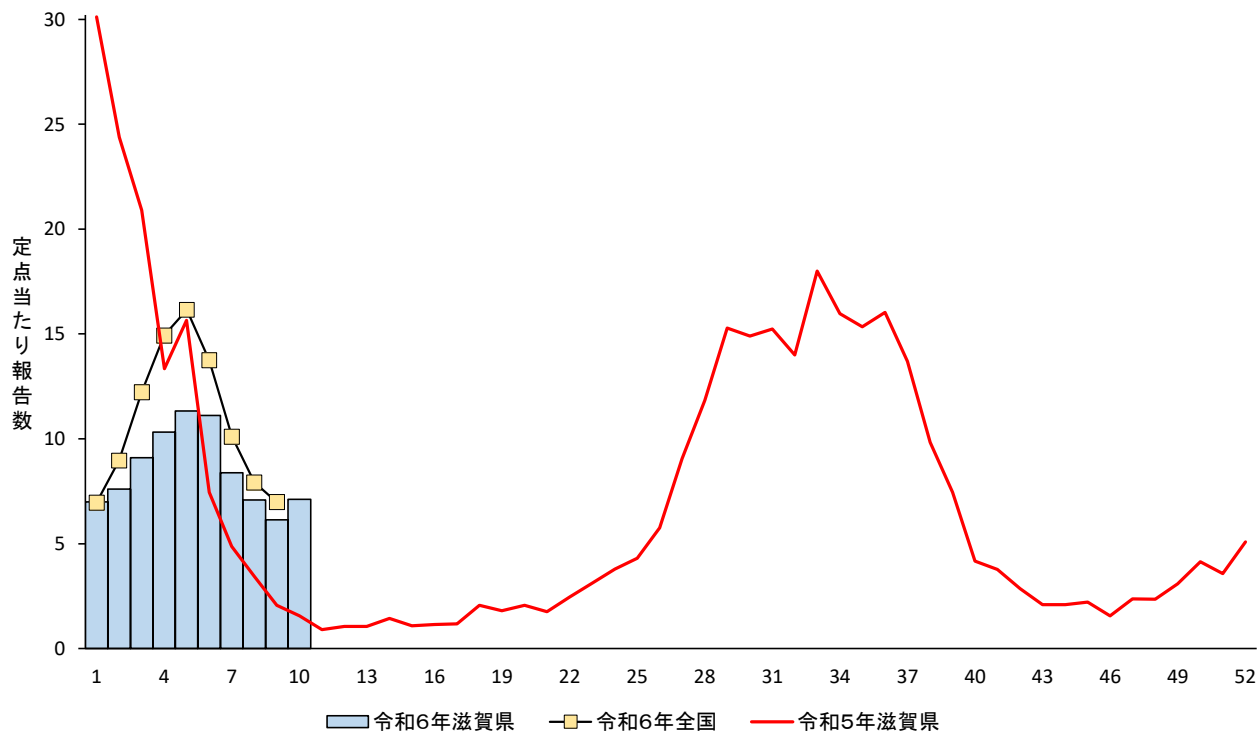
定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県			保健所別							全国 (前週)
		2週前	1週前	今週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
COVID-19 (定点数:60)	COVID-19	7.08	6.13	7.12	8.23	5.38	4.29	7.50	7.71	8.71	10.00	6.99
基幹 (定点数:7)	COVID-19入院	8.00	7.43	9.57	6.00	21.00	6.00	10.00	8.00	10.00	6.00	4.96

3. COVID-19の年齢階級別報告数(滋賀県、今週)

「-」: 報告なし

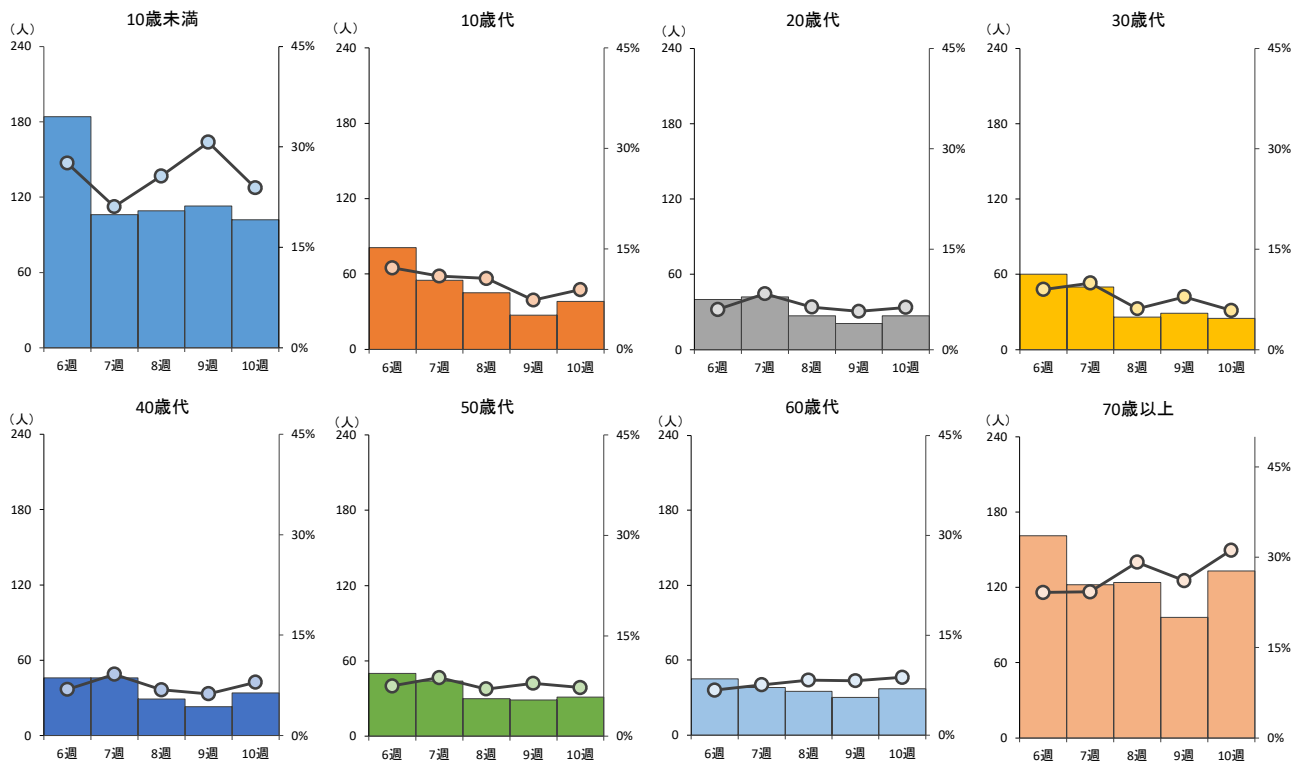
COVID-19定点	総数	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳~
COVID-19 (60医療機関)	427	5	7	9	13	11	6	10	13	9	6	13	28	10	27	25	34	31	37	50	83
大津市保健所 (13医療機関)	107	2	1	-	2	-	1	-	2	-	2	1	5	-	11	14	10	8	11	12	25
草津保健所 (13医療機関)	70	-	2	1	-	2	1	-	1	1	-	3	3	3	3	3	12	8	4	7	16
甲賀保健所 (7医療機関)	30	-	-	1	2	3	-	-	-	1	-	1	1	-	2	3	1	3	3	5	4
東近江保健所 (10医療機関)	75	3	3	4	3	3	2	5	4	4	1	4	12	4	4	1	2	2	1	4	9
彦根保健所 (7医療機関)	54	-	1	-	2	-	-	-	3	-	1	-	1	1	6	2	1	6	11	10	9
長浜保健所 (7医療機関)	61	-	-	3	4	3	2	5	3	3	2	3	3	-	-	-	3	2	5	10	10
高島保健所 (3医療機関)	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	2	1	2	5	2	2	2	10
COVID-19入院 (7医療機関)	67	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	2	3	15	43

4. 滋賀県と全国の COVID-19 の発生動向 (全国は前週まで掲載)

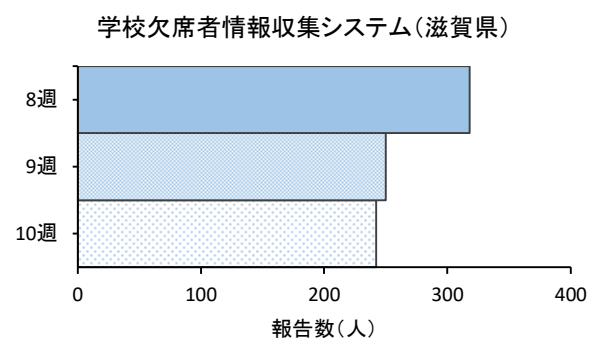
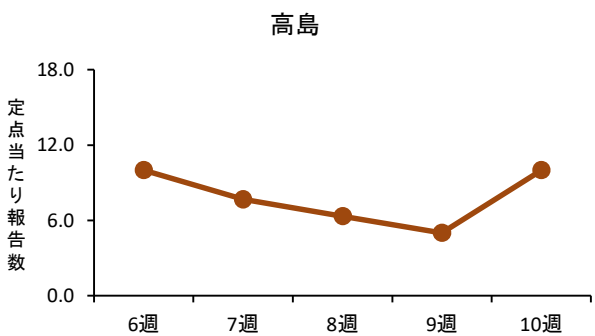
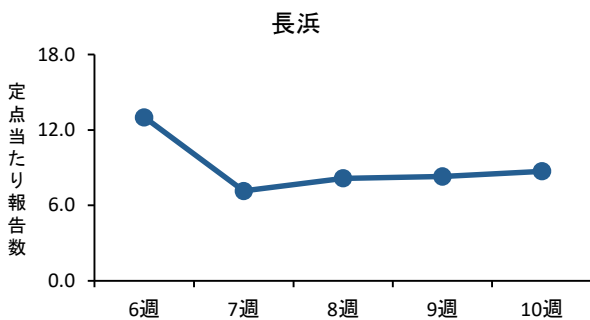
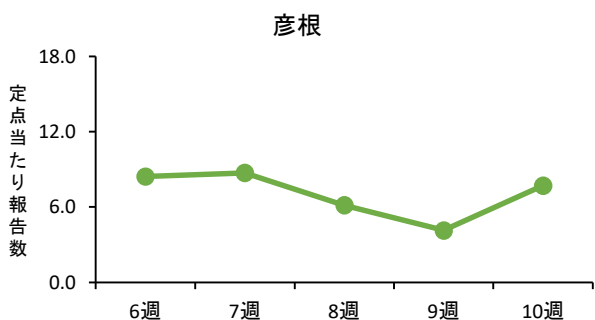
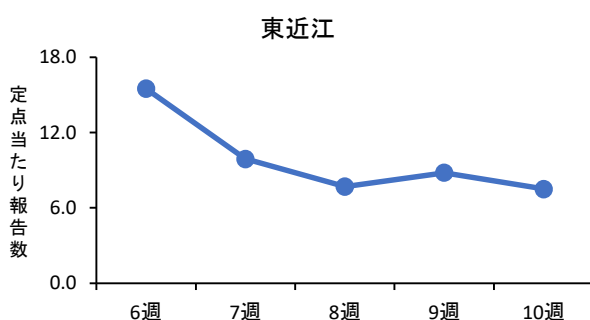
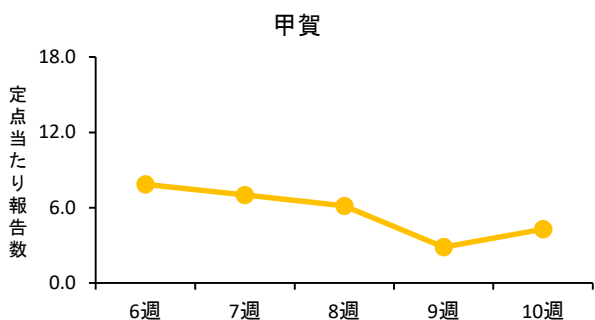
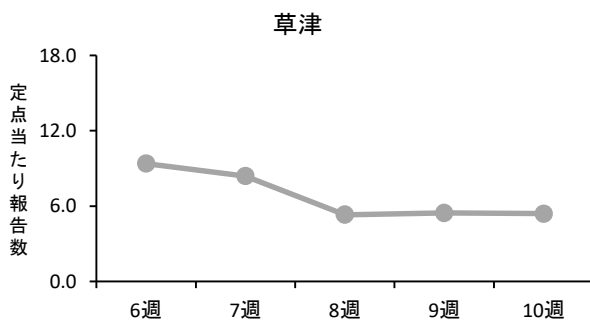
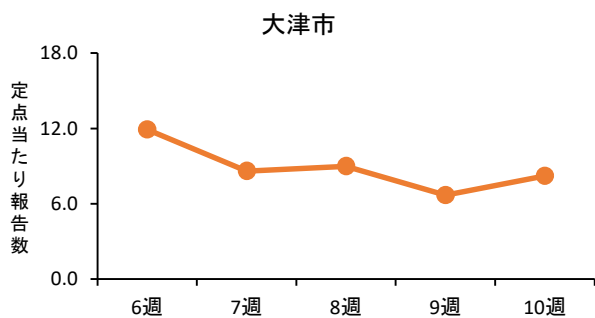
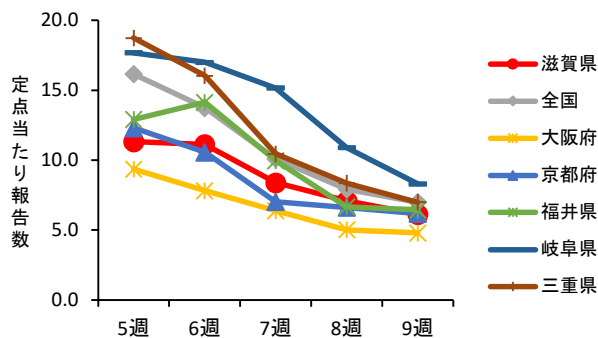
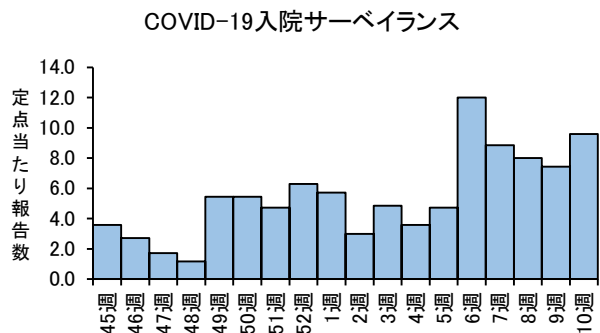


5. COVID-19 の年齢階級別推移 (滋賀県)

棒グラフ (左軸): 報告数 (人) 折れ線グラフ (右軸): 全年齢に占める割合 (%)



6. COVID-19の発生動向・保健所別推移等（全国・他府県は前週まで掲載）



1) 県内の入院状況

入院者数	うち重症者数
330	6

3/12更新データを掲載しています。
 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更され、通常の医療提供体制へ段階的に移行していきます。
 重症：ICUに入室または人工呼吸器・ECMO(体外式模型人工肺)が必要な方

2) クラスターの発生状況について

介護関連事業所	障害福祉関連施設	医療機関
1	0	0

3/4～3/10に県で確認したクラスターを掲載しています。
 保健所への相談、イベントベースサーベイランスでの検査等で、同一施設で5名以上の陽性者が確認された事例をクラスターとして報告しています。

3) 検査数

検査数	6,428件
-----	--------

3/4～3/10に県で確認した検査数を掲載しています。

4) 県内の外来対応医療機関のひっ迫状況について

県内の状況	7.3%
-------	------

3/4～3/10までに「ひっ迫している」と報告した医療機関の割合を算出しています。
 ※医療機関等情報支援システム(G-MIS)により集計

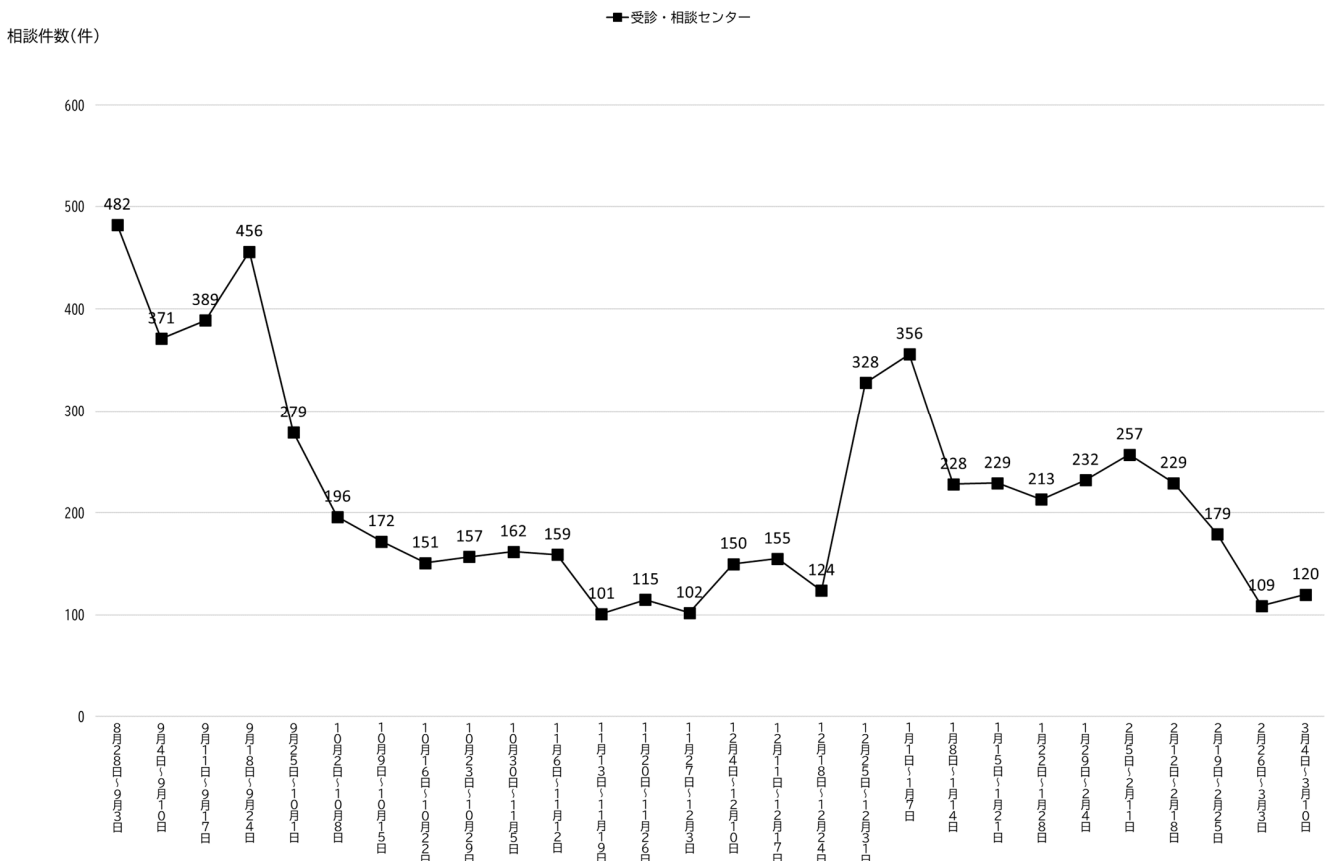
5) 救急搬送困難事案

発生件数	0件
------	----

3/4～3/10における大津市消防局からの報告数を掲載しています。

相談体制について

相談件数(週計)



変異株にかかるゲノム解析状況について

健康危機管理課
3月10日時点

- 世界的にはJN.1系統が88.2%(増加傾向)、EG.5系統が5.4%(減少傾向)、BA.2.86系統(JN.1系統を除く)が3.7%(減少傾向)を占めている。(WHO COVID-19 Epidemiological Update Edition 164 published 16 February 2024)
- 全国的にはJN.1系統は増加傾向であり、滋賀県では令和5年11月に初めて検出された。EG.5系統(HK.3系統を含む)およびBA.2.86系統(JN.1系統を除く)は減少傾向である。(新型コロナウイルス感染症サーベイランス週報:発生動向の状況把握 2024年第4週 国立感染症研究所感染症疫学センター)
- 滋賀県では、令和6年2月時点でBA.2.86系統が全体の64.1%(うちBA.2.86系統(JN.1系統を除く)は48.5%、JN.1系統は15.6%)、XBB系統が全体の15.6%(うちEG.5系統(HK.3系統を含む)は15.6%)を占めており、主流系統がXBB系統からBA.2.86系統に置き換わっている。世界および全国的に増加傾向であるJN.1系統は、滋賀県では現時点で全体の15.6%を占めているが、令和5年11月から令和6年1月にかけては増加傾向(11月:2.0%、12月:15.4%、1月:32.7%)であり、今後の動向に注意が必要である。
- 世界中で拡大しているJN.1系統は、EG.5系統(HK.3系統を含む)や先祖株であるBA.2.86系統よりも拡がりやすい可能性があるとして報告された。HK.3系統やBA.2.86系統よりも免疫を逃れる性質は強いが、ワクチンの効果はこれまで流行していたXBB系統と同程度の有効性が期待できるという見解が示されている。また、重症度が高くなる知見はなく、公衆衛生上のリスクは他のオミクロン株と同等とされている。(令和6年1月5日 東京大学医科学研究所, 令和6年2月16日 国立感染症研究所)

ゲノム解析結果(検体採取日別 月報) (注)グラフの数値は、3月10日時点の暫定値です。

